

2010年(平成22年)5月30日(日) 14版

社会 24

薬物依存の現状知って

覚せい剤や処方薬による薬物依存症の現状と治療の必要性を多くの人に知ってもらおうと、当事者と家族を支援するNPO法人「全国薬物依存症者家族連合会」(栃木県小山市)は29日、名古屋市東区の愛知県女性総合センターで第7回フォーラムを開催した。

フォーラムでは、薬物依存症者とその家族を対象にしたスペインの治療施設「プロジェクト・オンブレ」に赴き、研修を受けた近藤京子さんが、当事者と家族が人生を取り戻すための治療プログラムを紹介。国立精神・神経医療研究センター薬物依存研究部の松本俊彦医師が「司法的対応より治療的対応の方が薬物犯罪の再犯率が低い。依存症は慢性疾患なので、依存と気づいたらすぐ介入して治療を継続する必要がある」と指摘した。